

まいづるパートⅡ

令和5年度 No.13 校長室だより

通算No.31 (R5. 9.13)

霧島市立国分小学校長

☆ 本校の学力の状況について ☆

◎ 「標準学力検査の結果」(R5年4月に3～6年生が実施)

	3年	4年	5年	6年	全体
教科平均	49.3	50.2	51.7	51.4	50.7
知能平均	53.0				



※ 見方

知能平均については、学年によって51.6～54.6の幅がありました。知能平均の数値に比べて、教科平均の数値が大きい場合、よく努力していることになり、数値が小さい場合、能力に比べて努力が不足していることとなります。努力と書きましたが、努力とは、「**教師の指導力や本人の学習意欲、家庭学習等の積み重ね等の結果**」という意味になります。

※ 考察

本校においては、教科平均も知能平均も標準の50をおおよそ超えて良好ではありますが、知能に対して教科平均が下回っています。(このことを**アンダーアチーバー**と言います。)本来ならもっと上位の結果(教科平均)を出さなければなりません。

これらを踏まえ個々の結果を見てみると、**本来持っているであろう力を出し切れていない子が多い**ことや、学級の中で**学力の差が大きい**学年があることが分かりました。この傾向はここ数年続いています。ただ、昨年度に比べるとアンダーアチーバーの子が少なくなってきたことは良い傾向です。

今後とも、**授業を充実**するとともに、**個別指導や学習タイム、家庭学習等の充実**を図っていきたいと思います。また、**読書**にも力を入れる必要があると感じています。

◎ 「全国学力・学習状況調査の結果」(R5年4月に現6年生が実施)

教科	国分小	霧島市	鹿児島県	全国
国語	66.0	68.0	67.0	67.2
算数	61.0	61.0	61.0	62.5
平均	63.5	64.5	64.0	64.9

※ 考察

今回は、両教科とも残念ながら**全国平均を下回る結果**でした。本校を含め、全国的な傾向として国語の「**書くこと**」、算数の「**図形**」等の回答率が低いことが分かりました。また、これまでと同様に、**個によって差が大きい**ことも分かりました。今回の結果をもとに、**学校全体で取り組むことや個票の活用を図る**などの工夫を行っていきたいと思います。

◎ 「鹿児島学習定着度調査」(R5年1月に、現6年生が5年生時に実施)

	国語	社会	算数	理科	平均
本校	70.2	73.2	65.2	71.8	70.1
始伊地区	71.6	78.6	67.8	73.6	72.9
鹿児島県	70.9	77.5	67.4	71.7	71.9

※ 考察

この調査は、全体の通過率を7割に設定し問題を作成していることから、国語と社会、理科は学力がある程度定着していると言えますが、算数は昨年度同様、7割に届かず、特に「**思考・判断・表現の力に課題**」があることが分かりました。ただ、昨年度までに比べ、無答率が減ったことは良い傾向です。最後まで諦めずに、課題と向き合う姿勢が身に付いてきている証です。それから、**文の読み取りや、問題の条件に沿った解答を苦手**とする傾向があります。問題の意図を読み取れるよう、**授業はもちろんのこと、個に応じた指導や学習タイム等の充実**も図っていきたいと思います。

☆ これらの調査をとおして今後重点的に取り組みたいこととして、授業においては、なぜそのように答えたのか、考えたのかについて**根拠をもって答えられるよう**にさせること、また、日頃から、字数や時間などの**条件を意識したまとめ方(書く活動)**を意識して取り組ませることだと考えています。加えて、**読み取る力**をつけるために、家庭も含めた**音読活動や読書活動の充実**を図るとともに、文章の大事なところに線を引くなどの取組もどの学年でも実践していきたくて考えています。

☆ 学力向上は、学校での授業や個別指導等の充実とともに、家庭学習での積み上げも必要になってきます。「**家庭学習の手引き**」「**家庭学習の進め方**」については、以前配布してあると思いますが、ホームページにも掲載してありますので、確認されて家庭学習の充実にもご活用ください。

学校教育目標「胸を張って堂々と生きる」 青少年赤十字の目標「気づき・考え・実行する」